

平成29年度2／四半期「ひとり1改善運動」表彰内容一覧

団体表彰 7 件

区分	表 彰 内 容
改善	計量検査の立入調査においてエクセルの活用により商品名、表示量、皆掛量、風袋量等の必要な項目のみ入力すれば商品の過不足量率を自動判別できるシステムを構築し、併せて自動集計機能を活用して調査報告書等を作成することで、調査業務に係る作業時間を大幅に縮減し、業務の効率化を図った。
改善	精神障害者保健福祉手帳審査会や自立支援医療審査会において、それぞれの審査会に出席する担当の数の削減や、審査体制を1グループから2グループに分けて審査時間を短縮する等、審査会に係る事務の見直しにより業務の合理化を図った。
改善	牛受精卵の雌雄判別処理について、国内の多くの視察者に対応するため、5分程度の技術紹介のビデオを作成し、専門的な知識がなくても見ただけで雌雄判別処理について理解してもらえるよう工夫するとともに、視察対応業務の効率化を図った。
改善	自動車税の還付金を銀行で受け取る際の書類の記入方法について、姓や住所が変更となっている際に必要となる主な書類や名義人本人が死亡している際の問い合わせ先を明示するとともに、記入例の用紙を黄色に変更して目立つよう工夫することで、業務の効率化と県民サービスの向上を図った。
改善	公共事業の事後評価を行うためのアンケートにおいて、県民への見てもらいやすさに徹したアンケート用紙を作成したことで、従来より回収率が大幅に上昇し、有益なアンケート調査事務に改善した。
改善	年度作成した地震後道路特別パトロールマニュアルに基づいて、模擬演習を実施しパトロール体制の習熟を図るとともに、新たに発見された課題に対してQ&Aを作成することで災害時の対応の一層の充実を図った。
改善	電話での問い合わせ業務において、行動予定表を掲示し、着信を残した納税者名と簡単な用件を記入して班内で共有することで、折り返しの電話を受けた際に、納税者への丁寧な対応が可能になり、県民サービスの向上等、業務改善が図られた。

個人表彰 3 件

区分	表 彰 内 容
改善	自動車税・自動車取得税の還付充当通知書の変更に係る事務において、エクセルを活用して届出受理した内容を台帳へ入力するだけで、過誤納金還付充当決議書等、一連の事務に必要な様式に自動転記することで事務処理ミスの防止を図った。
改善	所属内職員を対象に、公文書作成の基本的ルールに関する研修を実施し、起案や回覧の文書等、公文書に対する職員の質の向上と意識改革を図った。
改善	再資源化施設の選定業務において、処分費及びDID地区を表示した施設位置図と「運搬費と処分費を自動計算するエクセル表」を作成することで業務の合理化を図った。

改善・・・職場や仕事の中で自ら取り組んだ改善内容やこれまでの改善事例をブラッシュアップした改善内容

提案・・・職場や仕事の中で気づいた点や研究した成果等を基にした事務改善等に関する意見・提案